

平成19年度 第21回 東海高等学校バスケットボール新人大会

平成20年2月16日(土) 会場:岐阜メモリアルセンター で愛ドーム・ふれ愛ドーム

男子一回戦

愛工大名電	13	-1st-	24	飛龍
	20	-2nd-	27	
	24	-3rd-	20	
	17	-4th-	33	
(愛知3位)	74		104	(静岡2位)

第1ピリオド、飛龍は1-3-1ハーフコートゾーンから積極的なディフェンスに出て、早い展開に持ち込み、秋山の3点シュート、楊のインサイドプレーで次々に得点をあげる。対する愛工大名電はインサイドにボールを運ぶが、相手のブロックショットに阻まれ、思うように得点が伸びない。第1ピリオドは飛龍が24-13とリードする。

第2ピリオドに入っても、飛龍は林、秋山らがシュートを決め、得点を伸ばす。愛工大名電もオールコート2-2-1プレスから徐々にリズムをつかみ、後藤のドライブなどで反撃に出る。前半は飛龍が51-33とリードして折り返す。

第3ピリオドに入ると、愛工大名電はオールコートマンツーマンでプレッシャーを強め、共田、竹内のシュートで反撃に出る。しかし飛龍は石原の1対1や楊のシュートで追い上げを許さない。

第4ピリオドに入って、飛龍は落ち着いてゲームを進め、前田、秋山、榎本らが次々にシュートを決め、最後は104-74の大差をつけて2回戦に進んだ。愛工大名電も後藤、共田が反撃のシュートを決めるが、最後は力尽きた。

皇學館	8	-1st-	21	中津川工業
	12	-2nd-	12	
	20	-3rd-	22	
	25	-4th-	13	
(三重2位)	65		68	(岐阜3位)

中津川工、オールコートマンツーマン、皇學館、1-2-1-1ゾーンプレスで始まる。中津川工は相手のゾーンディフェンスに苦しみながらも、田口、谷本が3点シュート、ミドルシュートをよく決め、第1ピリオド21-8とリードを奪う。皇學館はシュートが決まらず、苦しい立ち上がりとなる。

第2ピリオド、互いに激しいディフェンスで相手の攻撃を抑え、互角の展開となるが、点差は縮まらない。前半は33-20と中津川工がリードする。

第3ピリオドに入ると、皇學館がオフェンスのリズムをつかみ、出口、庄司がシュートを決めて追い上げる。しかし中津川工も田口が落ち着いてボールを運び、ファウルで得たフリースローも確実に決めて譲らない。

第4ピリオドに入ると、皇學館は山本、庄司の3点シュートが次々に決まり、次第に点差を詰めていく。残り27秒には3点差まで詰め寄るが、同点を狙った3点シュートが決まらずタイムアップ。中津川工は相手の反撃に苦しみながらも、粘り強いディフェンスで序盤のリードを守りきり、68-65で辛勝して2回戦に駒を進めた。

星陵		27	-1st-	25	岐阜農林	
		16	-2nd-	21		
	86	18	-3rd-	26		87
	(静岡3位)	25	-4th-	15		(岐阜2位)
<p>両チームともオールコートマンツーマンでスタートする。第1ピリオドは星陵が 村松のインサイドプレーを中心に、 荻田、 浜がよくシュートを決め、27-25とリードを奪う。</p> <p>第2ピリオドに入ると、岐阜農林は粘り強いディフェンスから相手のミスを誘い、 川崎、 今井のドライブや、 下瀬の3点シュートで逆転に成功する。前半は岐阜農林が46-43とリードする。</p> <p>第3ピリオドに入ると、岐阜農林は 下瀬、 滝沢のドライブなどで着実に加点し、リードを守る。星陵も 村松のインサイドプレー、 荻田のドライブで追い上げを図るが、思うように点差は縮まらない。</p> <p>第4ピリオド、星陵は猛反撃に出て、 浜がこのピリオドだけで4本の3点シュートを含む15点をあげる活躍で、一時は逆転に成功した。しかし、岐阜農林は 川崎、 滝沢、 下瀬が的確なシュートを決めて再逆転し、最後は1点差で逃げ切り、混戦を制して2回戦に進出した。</p>						

桜丘		26	-1st-	15	津田学園	
		18	-2nd-	13		
	75	19	-3rd-	23		79
	(愛知2位)	12	-4th-	28		(三重3位)
<p>津田学園、オールコートマンツーマン、桜丘、1-3-1ゾーンディフェンスでスタートする。第1ピリオド、桜丘は長身センター マンタスのインサイドプレー、 蔵地のドライブ、 太田の3点シュートで着実に得点をあげる。対する津田学園は 大城の3点シュートで反撃する。第1ピリオドは26-15で桜丘がリードする。</p> <p>第2ピリオドも桜丘はリバウンドを支配し、 浜野、 堀田のシュートで着実に得点をあげる。津田学園も相手のミスから速攻に出て、 伊藤、 安田のシュートで追い上げを図る。前半は桜丘が44-28とリードして折り返す。</p> <p>第3ピリオドに入ると、津田学園は 大城がこのピリオドだけで13点をあげるなど攻守に渡る活躍を見せ、次第に追いつける。</p> <p>第4ピリオド、津田学園は自分たちのペースをつかみ、 伊藤、 大城、 三谷次々にミドルシュートを決めて、ついに逆転に成功した。津田学園は粘り強いディフェンスで相手の反撃を振り切り、79-75で勝利し2回戦に進出した。桜丘は逆転を許してからスタートメンバーに戻したが、相手の勢いを止めることはできなかった。</p>						

男子二回戦

岐阜総合学園	26	-1st-	23	飛龍	
	21	-2nd-	24		
	80	14	-3rd-		16
	(岐阜1位)	19	-4th-		18

両チームともゾーンディフェンスで積極的にプレスをしかける。岐阜総合学園は相手のミスを誘うと、田代、松井の3点シュートもリズムよく決まる。飛龍もディフェンスをマンツーマンに変え、オフェンスでは楊にボールを集めて、ようやく自分たちのリズムを取り戻す。第1ピリオドは、岐阜総合学園が26-23とリードする。

第2ピリオド、飛龍は激しいディフェンスから速攻が決まり逆転する。しかし岐阜総合学園もマンツーマンとゾーンを繰り返しながら、田代、寺井、長尾がシュートを決め一歩も譲らない。前半は47-47の同点で終わる。

第3ピリオド、飛龍のディフェンスのプレッシャーが強まると、岐阜総合学園のアウトサイドシュートが決まらなくなる。しかし、岐阜総合学園もよく走ってディフェンスを頑張り、一進一退の展開となる。飛龍が2点リードで最終ピリオドへ。

第4ピリオド、飛龍が楊のインサイドプレー、前田の3点シュートでリードを奪うが、岐阜総合学園も松井のシュートや、田代、寺井の3点シュートで必死についていく。残り8秒、飛龍1点リードで岐阜総合学園がスティール。残り2秒で岐阜総合学園田代が逆転をかけたシュートを放つも、外れてタイムアップ。飛龍が高さを生かしてインサイドを支配して81-80で勝利し、準決勝へ進んだ。岐阜総合学園も田代、松井のアウトサイドシュートで対抗したが、一歩及ばなかった。

中津川工業	23	-1st-	26	中部大第一	
	24	-2nd-	22		
	92	26	-3rd-		25
	(岐阜3位)	19	-4th-		33

第1ピリオド、中部大第一は張のインサイドを中心に、フリースローを確実に決めてリズムをつかんでいく。中津川工業も思い切りのよいドライブから、田口、谷本がシュートを決める。第1ピリオドは中部大第一が26-23と一歩リードする。

第2ピリオド、中部大第一は途中から2-2-1オールコートプレスに切り換え、張を中心に攻める。しかし中津川工業も激しいディフェンスから相手のターンオーバーを誘い、田口、和田井がシュートを決め、一進一退の展開となる。前半は中部大第一が48-47と1点のリードで後半に突入する。

第3ピリオド、中部大第一は宇都がミドルシュートをよく決めるが、中津川工業も田口、和田井、谷本の3点シュートが決まり、互いに譲らず同点で最終ピリオドを迎える。

第4ピリオド、中部大第一は宇都、張が次々にシュートを決めて流れを引き寄せ、一気に10点のリードを奪い、最後は106-92で勝利して準決勝へ進んだ。中津川工業も最後まで粘り強くディフェンスを頑張ったが、最後は追い切れなかった。

四日市工業	17	-1st-	22	岐阜農林
	26	-2nd-	13	
	21	-3rd-	15	
	27	-4th-	31	
(三重1位)	91		81	(岐阜2位)
<p>四日市工業、オールコートマンツーマン、岐阜農林、ハーフコートマンツーマンで始まる。四日市工業は、出だしから 岩田がゲームをコントロールし、よいリズムでシュートを決めていく。岐阜農林は、川崎、今井が外からのドライブイン、ミドルシュートなどで得点していく。第1ピリオドは、岐阜農林が22-17とリードする。</p> <p>第2ピリオド、四日市工業が中と外の合わせから良いリズムで、岩田、川合がシュートを決めて逆転に成功する。岐阜農林は、小林がゲームをコントロールするが、なかなかシュートが決まらない。前半は43-35と四日市工業がリードする。</p> <p>第3ピリオド、岐阜農林は 滝沢がミドルシュートを次々に決め、一時は2点差まで詰め寄る。しかし、四日市工業も 出岡、布谷がドライブやミドルシュートを決め、岐阜農林の追撃を許さない。第3ピリオドは四日市工業が64-50とリードして最終ピリオドを迎える。</p> <p>第4ピリオド、四日市工業は 岩田を中心に良いリズムでシュートを決め、点差を広げていく。岐阜農林もオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけるが、なかなかボールを奪うことができない。最後までよく走った四日市工業が、91-81で勝利を収め準決勝に駒を進めた。岐阜農林も必死のディフェンスからボールを奪い、第4ピリオドだけで7本の3点シュートを決めるが、追いつくことはできなかった。</p>				

津田学園	24	-1st-	33	藤枝明誠
	20	-2nd-	32	
	21	-3rd-	34	
	19	-4th-	44	
(三重3位)	84		143	(静岡1位)
<p>両チームともハーフコートマンツーマンでスタートする。第1ピリオド、藤枝明誠は激しいディフェンスで相手のミス誘い、鈴木の個人技や 幸野、増井のミドルシュートで得点をあげる。津田学園は 大城、三谷のミドルシュートやドライブインで何とか追いつく。第1ピリオドは藤枝明誠が33-24とリードする。</p> <p>第2ピリオド、藤枝明誠は 尹がリバウンドを支配し 幸野がミドルシュートを確実に決め、増井が速攻を決めて得点を伸ばす。津田学園は 大城、三谷の気迫あふれるプレーで追い上げる。前半は藤枝明誠が65-44と21点リードして折り返す。</p> <p>第3ピリオド、藤枝明誠は 幸野、藤井の3点シュート、藤井のミドルシュートや速攻で着実に得点を伸ばす。</p> <p>第4ピリオド、藤枝明誠は控えのメンバー主体でオールコートマンツーマンを仕掛け、相手のミスから速攻で勢いに乗ると、尹、古本、四ノ宮がミドルシュート、一木が5本の3点シュートを決め、最後は藤枝明誠が143-84と大差をつけて勝利した。津田学園も 福井の3点シュート、大城、三谷のミドルシュートで最後まであきらめず、ファイト溢れるプレーを展開したが、前半の失点を挽回することはできなかった。</p>				

女子一回戦

沼津中央	17	-1st-	21	川越
	18	-2nd-	13	
	23	-3rd-	15	
	21	-4th-	24	
(静岡3位)	79		73	(三重2位)

第1ピリオド、川越は速いパス回しから伊藤し、町野が3点シュートを決め、優位にゲームを進める。沼津中央も土井、李がゴール下を支配し、追いつける。第1ピリオドは川越が21-17と4点をリードする。

第2ピリオドに入ると、沼津中央はディフェンスの当たりを強め、土井、李のポストプレーを軸に、角谷がよくシュートを決め、35-34と逆転して前半を折り返す。

第3ピリオドに入っても、沼津中央は八木のドライブや、土井、李のリバウンドシュートで着実に点差を広げる。川越も伊藤し、町野がドライブやゴール下シュートを決めて追いつけるが、リバウンドを奪えず苦しい展開となる。

第4ピリオド、沼津中央は土井、李がリバウンドシュートやフリースローを着実に決め主導権を譲らない。最後までペイントエリアを支配した沼津中央が79-73で勝ち、2回戦へ進出した。川越も伊藤早、町野のドライブや西川の3点シュートなどで必死に追いつけるが、一時は2点差まで詰めたが、最後は相手の高さに屈した。

名経大高蔵	33	-1st-	11	高山西
	17	-2nd-	22	
	23	-3rd-	19	
	25	-4th-	12	
(愛知2位)	98		64	(岐阜3位)

名経大高蔵オールコートマンツーマン、高山西ハーフコートマンツーマンでスタート。名経大高蔵は立ち上がり松浦のドライブ、波羅密の3点シュートで次々に得点をあげ、リードを奪う。高山西は堅さが見られミスが続出する。第1ピリオドは名経大高蔵が33-11とリードする。

第2ピリオドに入ると、高山西はディフェンスで頑張りを見せ、朝熊のドライブ、3点シュート、井川の3点シュート、原のミドルシュートが決まり、次第に追いつける。しかし名経大高蔵もシュートチャンスを確実にものにし、主導権を渡さない。前半は名経大高蔵が50-33とリードして折り返す。

第3ピリオドは名経大高蔵が戎井、松浦のドライブで得点をあげれば、高山西は武のポストプレーを軸に、朝熊の3点シュートなどで得点をあげ、互角の展開となる。

第4ピリオド、名経大高蔵はスティールからボールを奪うと、速攻から次々に得点をあげ、98-64で快勝して2回戦に駒を進めた。高山西は最後まで粘り強く攻めたが、立ち上がりのミスの多さが最後まで響いた。

星城	16	-1st-	19	市立沼津
	14	-2nd-	27	
66	17	-3rd-	23	81
(愛知3位)	19	-4th-	12	(静岡2位)
<p>市立沼津は 大箸にボールを集め、ポストプレーからのドライブや、ファウルで得たフリースローを次々に決め、リードを奪う。星城は出足よく 木原のポストプレーや 三浦がドライブでリードするも、ファウルがかさみリズムに乗れない。第1ピリオドは市立沼津が19-16とリードする。</p> <p>第2ピリオドに入ると、市立沼津は 大箸のポストプレーを軸に、大石、植田のドライブが決まり、順調に得点を伸ばしていく。対する星城は 木原のインサイドプレー、三浦のドライブで得点するも、相手のポストプレーを守りきれず、ファウルがかさんでくる。前半は、市立沼津が46-30とリードして折り返す。</p> <p>第3ピリオド、市立沼津は 大箸、林、金森が得点をあげるのに対し、星城はオールコートプレスディフェンスでリズムを作り、三浦、岡田が得点をあげ、互角の展開となるが、市立沼津はゲームの主導権を渡さない。</p> <p>第4ピリオド、市立沼津は苦しみながらも 大箸が要所でシュートを決めて、相手の反撃を許さず、81-66で勝ち2回戦に進出した。星城もオールコートプレスで脚を止めずによく守り、ファウルで得たフリースローを確実に決めしたが、中盤の劣勢を覆すことができなかった。</p>				

県立岐阜商業	20	-1st-	20	四日市商業
	17	-2nd-	18	
71	16	-3rd-	21	75
(岐阜2位)	18	-4th-	16	(三重3位)
<p>第1ピリオド、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタートする。県岐阜商は 宮ノ脇のドライブ、羽賀のジャンプシュートを中心にリードを奪う。その後、四日市商は 平賀、堀田の3点シュートで追い上げ、20-20の同点で第1ピリオドを終了する。</p> <p>第2ピリオド、県岐阜商は 山田、羽賀のドライブで8点を連取する。しかし、四日市商はディフェンスを1-1-2-1のゾーンプレスに変え、大倉の中心にインターセプトから速攻に出て、得点を重ねる。最後に四日市商 平賀の3点シュートが決まり、38-37と四日市商が1点リードで折り返した。</p> <p>第3ピリオド、四日市商は 平賀、堀田、大倉の3点シュートが効果的に決まる。一方、県岐阜商は相手のゾーンディフェンスを攻めあぐみ、59-53と四日市商の6点リードで終了する。</p> <p>第4ピリオド、四日市商は 大倉の1対1、県岐阜商は 渡邊の3点シュートを中心に得点し、一進一退の攻防が続く。四日市商は 平賀、佐藤、大倉がファウルアウトして、一旦は県岐阜商がリードを奪うが、四日市商は 河合がフリースローを確実に決め、阿部が1対1から得点し、75-71で四日市商が勝利を手にした。</p>				

女子二回戦

岐阜女子		37	-1st-	12	沼津中央
		20	-2nd-	21	
	96	26	-3rd-	15	
	(岐阜1位)	13	-4th-	15	
<p>第1ピリオド、岐阜女子は相手の攻撃の軸となる 土井、 李を厳しいディフェンスで抑え、攻めでは 上原を中心に、合わせのプレーやリバウンドシュートで次々に得点をあげ、第1ピリオドを37-12とリードする。沼津中央も 河野の1対1や、 李の3点シュートで応戦するが、点差は開くばかりであった。</p> <p>第2ピリオド、岐阜女子が速攻や 荒井、 岡田の3点シュートで得点すれば、沼津中央は 李、 土井のポストプレーで得点し、 互角の展開となる。しかし、点差は縮まず前半は岐阜女子が57-33とリードする。</p> <p>第3ピリオド、岐阜女子は相手のセンターをきっちりと抑え、 森本のドライブや、 汪のゴール下で得点を伸ばす。沼津中央は 土井のゴール下シュートや、 八木のドライブで対抗するも点差は開く一方となる。</p> <p>第4ピリオドに入っても、岐阜女子は交替した 西尾が3点シュートやゴール下でのシュートを決め、96-63の大差で沼津中央を下し、準決勝へ進んだ。沼津中央も 八木がドライブや3点シュートを決めたが、点差を詰めるには至らなかった。</p>					

名経大高蔵		14	-1st-	24	常葉学園
		16	-2nd-	21	
	58	18	-3rd-	27	
	(愛知2位)	10	-4th-	17	
<p>両チームともハーフマンツーマンでスタート。お互いに激しいディフェンスが持ち味で、立ち上がりから豊富な運動量で相手にプレッシャーをかける。そんな中、常葉学園は 鈴木の力強いポストプレーや 風間の鋭いドライブでチャンスを作り得点していく。名経大高蔵は、思うようにプレーさせてもらえないものの、相手のマッチアップがずれた僅かな隙をついてシュートを決める。一進一退のまま試合は進んでいくが、常葉学園は 鈴木の安定したポストプレーで確実に得点をあげ、じわじわと点差を広げていく。常葉学園が45-30と15点リードして前半を終える。</p> <p>後半立ち上がり、常葉学園は運動量が落ちた相手に激しくプレッシャーをかけて、 西野、 鈴木がよく速攻に走り、次々と得点を重ねていく。名経大高蔵は 波羅密の3点シュートで反撃するも単発的な攻撃に終わり、試合の流れを変えることはできない。結局、最後まで運動量の落ちなかった常葉学園が89-58で勝利し、準決勝に進んだ。</p>					

津商業		10	-1st-	25	市立沼津	
		18	-2nd-	14		
	61	18	-3rd-	18		
	(三重1位)	15	-4th-	6		63
						(静岡2位)
<p>市立沼津は 大箸にボールを集めて得点を重ねる。津商業は 長野がドライブや3点シュートを決めるが、インサイドを抑えられる苦しい展開。第1ピリオドは市立沼津が25-10とリードを奪う。第2ピリオドに入ると、津商業はオフェンスリバウンドを奪い、 鈴木の中ドルシュートや、 戸田のインサイドプレーで徐々に追いつける。市立沼津も 大箸の力強いプレーでシュートを決める。前半は市立沼津が39-28と11点リードする。</p> <p>第3ピリオドは、市立沼津が 大箸のインサイドプレーや、 林の連続得点でリードすれば、津商業は 鈴木の中ドルシュートや、 北出のシュートで対抗し、互角の戦いとなる。</p> <p>第4ピリオドに入ると、津商業はインサイドのディフェンスを頑張り、相手の得点を抑えると、 長野、 戸田、 鈴木がシュートを決め、必死の追いつきを見せ2点差まで詰め寄り。しかし、市立沼津は最後までよく守り、リードを守りきって接戦を制し、準決勝へと進んだ。</p>						

四日市商業		9	-1st-	21	桜花学園	
		15	-2nd-	24		
	53	10	-3rd-	24		
	(三重3位)	19	-4th-	24		93
						(愛知1位)
<p>第1ピリオド、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタートする。桜花学園は 渡嘉敷が高さを生かして、このピリオドだけで15点をあげる活躍を見せる。四日市商業は 平賀、 大倉の個人技で得点するが、組織的に攻められない。第1ピリオドは桜花学園が21-9とリードする。</p> <p>第2ピリオドに入っても、桜花学園は 大西、 渡嘉敷のゴール下で次々と得点をあげ、45-24と大きくリードして折り返す。四日市商業は 河合が3点シュート、 佐藤がゴール下シュートを決めるが、点差は開く一方となる。</p> <p>第3ピリオド、桜花学園は 深野の中ドルシュート、 大西のシュートで着実に得点を伸ばす。四日市商業も 平賀の1対1、3点シュートで対抗するも、点差を縮めるには至らない。</p> <p>第4ピリオド、桜花学園は途中出場の 水島、 長尾の中ドルシュート、 磯部のゴール下シュートで主導権を渡さず、終始リードを守って93-53で勝利し準決勝へ進んだ。四日市商業も最後まであきらめずよく走ったが、相手の高さやスピードに圧倒された。</p>						